



現代社会の基礎サバイバル知識

vol.8

今回のテーマ

↓
個人情報を守れ!

インターネットや携帯電話に書き込んだ個人情報が悪用される!? そんな事態を回避するにはどうすればいい?

ネットや携帯電話のブログ、プロフィール、SNS

(ソーシャル・ネットワーク・キング・サービス)などで、つい名前、住所、携帯電話番号などの個人情報を書き込んでしまう……心当たりがある人はいないだろうか? これは実は危険な行為。自分の名前やIDを使って掲示板に悪質な書き込みをされる、自分の個人情報を売って買い物をされる、有料サイトの架空請求が来る、勧誘電話やDMが増える、見ず知らずの人にストーキングされるといった被害は実際にいくつも起きているのだ。

サイト上で様々な人と交流できるSNS機能を持つ人気ケータイサイト「モバゲータウン」を運営するディー・エヌ・エーの西雅彦さんによれば、名前・住所・電話番号はマズいとわかっていても、無意識に個人情報をア

ップしてしまうケースがあるという。

「取ったばかりの免許証、キャラクターもののキャッシュカード、ナンバーが写ったバイクの画像などからも個人情報が流出しますし、「家の前にこんな建物がある」と書き込むと住所が特定される可能性があります」

同社では、システム上の書き込み制限に加え、400人体制で目視によるチェックも行っている。サイトを利用する際は、こうした個人情報の管理体制を確認しておくのも大切だ。ただし、最後はやっぱり自己責任。

「ニックネームで呼び合うバーチャルなコミュニケーションでも十分楽しめます。リスクを認識していれば必要以上に警戒することはないんです。個人情報を書き込まなければいいだけなんですから」(西さん)

ネット、ケータイで

[個人情報]を守るための3箇条

1. 不特定多数が閲覧するサイトに名前・住所・携帯電話番号・メールアドレスなどの個人情報は書き込まない
2. 画像などをアップする場合は、個人情報や個人の特定につながる情報が映っていないか要チェック
3. 会員登録などで個人情報を入力する必要がある場合、信頼できるサイトかどうかを慎重に判断。誘導されるままに安易に入力しない